

2012年(平成24年)度 総会・学術評議員会 議事録

I. 日時：2012年（平成24年）3月27日（火）13:30～14:58

II. 会場：山梨大学甲府キャンパス M号館1階 A会場(M-12)

III. 開会の辞 岡部庶務担当理事より、事前に寄せられた書面評決状は総数1620通（各議案については1号議案：賛成1,614、反対3、2号議案：賛成1,613、反対4、3号議案：賛成1,613、反対3、4号議案：賛成1,611、反対3、5号議案：賛成1,609、反対3、6号議案：賛成1,611、反対3、7号議案：賛成1,611、反対3、8号議案：賛成1,614、反対3、9号議案：賛成1,607、反対4）であり、本日の出席者を合わせると合計1628名で正会員総数2090名の過半数（1046名）を上廻り、定款31条に定められた定足数を超え成立すること、また、学術評議員会は388名のうち、既に委任状310通が届いており、出席者をあわせると337名で、定款施行細則9条に定められた定足数78名（学術評議員数の1/5）を超え、成立している旨の報告がおこなわれ、開会が宣せられた。

IV. 議事の経過および結果

最初に、第116回（平成23年度）日本解剖学会総会・全国学術集會会頭の内山安男氏より挨拶があり、東日本大震災の被害者に対する哀悼の意が表された後、第116回全国学術集會開催準備に対する協力への謝辞が述べられた。また、前理事長として、在任中の活動の報告とともに協力への謝辞が述べられた。その後、互選により第117回全国学術集會副会頭の竹田扇氏（山梨大学）が議長に、吉川雅英氏（東京大学）が副議長に、原田彰宏氏（大阪大学）が書記にそれぞれ選出され、下記の議案について逐一審議した。

1. 議事録署名人の件

議長より本日の議事をまとめるに当たり議事録署名人の選任を諮り、協議の結果、松田正司氏（愛媛大学）、荒木伸一氏（香川大学）を選任した。

2. 理事長報告

議長は標記議案につき高田理事長に報告を求め、理事長よりまず、今回の総会・全国学術集會の準備にあたった山梨大学 大野会頭をはじめとする関係者への謝辞が述べられた。次に、新法人への移行に向けての会員の協力への謝辞が述べられた。また、サージカルトレーニングに対するガイドラインの検討状況についての報告が行われ、これは解剖学教室としてサージカルトレーニングを行うことを義務化するものではないことなどが説明された。

3. 報告事項

議長は標記議案につき岡部常務理事に報告を求め、以下1)～5)につき、同理事より報告がおこなわれた。

1) 会員状況

平成23年12月31日現在、正会員2,096名、名誉会員105名、永年会員121名、賛助会員39名、団体会員59名、海外会員17名である旨、報告がおこなわれた。

2) 物故会員

7名の物故会員の氏名が朗読され、続いて出席者全員により黙祷が捧げられた。

3) 教授就任による新学術評議員

教授就任による新学術評議員10名の紹介が資料に基づきおこなわれた。

4) 各種規約の改定

(1) 教授就任による学術評議員就任についての申し合わせ、(2) 第116回日本解剖学会全国学術集會に関連した「特別事業積立金」運用の申し合わせ、(3) 一般社団法人日本解剖学会代議員選挙規程、(4) 代議員選出規程申し合わせ、(5) 一般社団法人日本解剖学会役員選出細則 以上5項目の申し合わせ・規程・細則の改定が資料をもとに報告された。

5) その他

岡部庶務担当理事から、資料をもとに「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン（案）」とそれに対する解剖学会の見解（案）についての説明が行われた。

4. 審議事項

(1) 新名誉会員の件

理事会より推薦の1名の候補者について資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

(2) 新永年会員の件

理事会より推薦の9名の候補者について資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

- (3) 申請による学術評議員の件
理事会より推薦の10名の候補者について資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。
- (4) 平成23年度事業報告および業務監査報告の件
議長は標記議案について岡部常務理事（①、②、⑤～⑦）、渡辺常務理事（③）、各委員会委員長（④）に説明を求めた。各担当理事及び委員長より各々資料をもとに説明がなされ、審議の結果承認された。
①学術集会開催状況、②会議開催状況、③学会誌の刊行状況、④委員会報告 1)解剖組織技術士資格審査委員会 2)解剖体委員会 3)解剖学用語委員会 4)海外交流委員会 5)教育委員会 6)情報技術委員会 7)学術委員会 8)コ・メディカル教育委員会 9)倫理委員会 10)男女共同参画推進委員会 11)将来計画ワーキンググループ 12)公益法人ワーキンググループ、⑤研究の奨励および業績の奨励、⑥内外学術団体との協力ならびに連絡、⑦技術士認定
- (5) 平成23年度決算および業務・会計監査報告の件
議長は平成23年度決算について牛木常務理事に説明を求めた。同理事より資料をもとに説明がなされ、審議の結果、承認された。次に、相磯監事による事業・会計の監査報告がおこなわれ、小出将恵公認会計士による監査報告書とともに承認された。また、相磯監事より、解剖学振興資金の今後の扱いについての提言を行ったことが報告された。
- (6) 平成24年度予算および事業計画の件
議長は標記議案について牛木常務理事に説明を求めた。同理事より資料をもとに説明がなされ、審議の結果、承認された。
- (7) 平成25年度予算執行の件
平成25年度予算執行に関し、社員総会開催までの1～3月分の予算執行については理事会に一任することが承認された。
- (8) 第120回総会・全国学術集会開催担当校の件
京都府立医科大学を推薦するとして理事会の提案が承認された。
- (9) 一般社団法人への移行に必要な学会定款の変更について
議長は標記議案について岡部常務理事に説明を求めた。同理事より資料をもとに説明がなされ、議長が出席者の意見を徴したところ満場異議なく、定款第44条に定める評議員現在数および正会員数の各々4分の3以上をもって承認された。
5. 第118回（平成25年度）日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告
議長は標記議案につき、第118回日本解剖学会総会・全国学術集會会頭の竹内義喜氏（香川大学）に報告を求め、同教授より準備状況の報告と挨拶がおこなわれた。

以上により、本日の議事を終了し、閉会を宣した。

上記の2012年度（平成24年度）総会・学術評議員会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2012年（平成24年） 月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人